



## 豊中空襲の体験を聴きました

昨年度の平和学習は長崎の原爆について学習しましたが、今年度は豊中空襲について学んでいます。蛍池周辺でも、かつて爆弾や焼夷弾（しょういだん）が空から落ちてきて、犠牲になった人、大切な家族や友人を失った人、大変恐ろしい体験をした人が多くいらっしゃったのです。

7月7日、豊中空襲の体験者のお一人であるAさんにお話を聴きました。Aさんは豊中空襲があった1945年は大池国民学校（今の池小学校）の4年生で、豊中市千里園（蛍池や刀根山の隣の地域）に住んでおられました。AさんやAさんの夫が体験されたことは、今の時代に絶対に起きてほしくない恐ろしく、悲惨なものでした。



○ 特攻機に載って敵の飛行機に体当たりすることを命じられていた若い兵隊は、当時5年生だったAさんの夫に次のように話しかけました。「僕はお国のために明日死ななければならぬ。君は一生懸命勉強してお国のために役に立つ人になってほしい。」そう言ってAさん（夫）に一冊の辞書を手渡し、翌日帰りの燃料も積んでいない飛行機に乗り、飛び立っていったのです。

○ 6月7日のお昼ちょっと前ごろに空襲警報が出て、家族6人で家の押入れに入って隠れていました。しばらくするとゴーンというものすごい音がしたかと思うと、ガチャーン！バーン！という轟音と共に押入れの中がひっくり返るくらいの衝撃を感じました。震度7ぐらいの揺れでした。しばらくして、押入れの外に出て見ると家の中はぐちゃぐちゃ。天井も落ちていて、上を見ると家の中から空が見えました。

○ 7月の初旬、学校へ行くと警戒警報が出ました。そこで、防空頭巾をかぶり帰宅することになりました。千里川を渡るあたりで空襲警報に変わり、「溝に入りなさい！」という先生の声で急いで道の横の溝に入り身を隠しました。そこへ刀根山の方から飛行機がピューッと下りてきて、操縦していた兵隊の顔が見えるぐらいの低空飛行をしながら、私の横ぐらゐにバーン、バ、バーンと4つほど射撃して飛んでいきました（機銃掃射）。もう怖かった…怖くて怖くて溝の中で震えていました…。操縦していた兵隊の顔は今でも忘れられません。

「みなさんがたの顔はみんなきれいでかわいいです。これは平和が続いているからですよ。みなさんがたのかわいい顔を、そして優しい心をいつまでも大切にしてください。」と話をしめくくられたAさんの思いを、みなさんと一緒に引き継いでいきたいと強く感じました。

## 新しい学校図書館司書の先生が来られました

6月からBさんに代わり、Cさんが図書館司書として十八中に来られました。すでに図書館でお話をしたことがある人も多いと思います。自己紹介を書いていただきました。

### 気軽に図書館に遊びに来てください！

はじめまして。6月中旬頃から勤務している図書館司書のCです。

学校図書館での勤務は初めてなので生徒のみなさんに色々とお話していただくこともあると思います。右も左もわからない状態からの勤務でしたが、休み時間など図書館に来てくれる生徒さんもいてくださり、あまり図書館に来ないかな...と思っていたのでとてもうれしかったです。知識の宝庫である図書館という場所で、少しでも生徒のみなさんのお力になれるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

小説・漫画・アニメと幅広く好きなので、話しかけてもらえると嬉しいです。あまり本を読まない生徒さんも、お話ししに気軽に図書館に遊びに来てくださいね。



## 第69回中学生人権作文コンテスト 募集のご案内

人権は、みなさんが幸せに生きるための大切な権利です。自分の身の回りのことや、ニュースなどで見聞きしたことをもとに、「人権作文」を書いてみませんか？テーマは友だち関係やいじめのこと、いろんな立場の人が共生すること、平和のこと、身の回りのことで気になったことなどでみなさんが感じたことや、伝えたいことを作文にしてください。

**作文の枚数** 400字詰原稿用紙5枚以内。紙の原稿用紙でもいいですし、法務局のホームページからワードの原稿用紙もダウンロードできるので、利用してもらっても結構です。

**作文の〆切** 8/31（水）夏休み中に作文に取り組んでください。担任の先生を通じてか、直接校長か教頭まで提出してください。

**備考** 過去5年間の入賞作品は大阪法務局のホームページに公開されています。

**主催** 大阪法務局・大阪府人権擁護委員連合会

